

野添産業

野添産業は大阪府東大阪市に本社を構え、全国に営業・物流拠点を持つ梱包資材メーカー。荷物の梱包に用いるストレッチフィルムを主力製品に持つ。

使用済みのストレッチフィルムを自社で有価回収し、再生製品へとリサイクルする循環型ビジネスが特徴。中でも再生ストレッチフィルム「アースプロテクトエコ」は、再生原料を国内最高水準の50〜80%使用し、かつバージン製のものと同色な耐久性・機能性を持つ。製造時のCO₂排出量削減などに貢献する。

また再生原料の製造では水による洗浄工程を必要とせず、一切の汚染水を出さない「真に環境に優しい」リサイクル製品となっている。

品質・安定供給に認証制度

資源に乏しい日本では、プラの原料となる原油を含め、多くを輸入している。一方、使用済みプラは国内に多く存在し、資源として有効利用が可能だ。

2030年目標

を目指す団体「サステナブル・プラスチック・イニシアチブ」は、主導して構築した仕組みだが、再生プラを使って製品を作る需要者、品質確保や安定供給に側意・要望を取り寄与する認め、担当者によると、証制度「S」に現場に即した内容に

国内では使用済みプラの一部を粉碎・洗浄・溶融・再成形し、再び材料として利用（マテリアルリサイクル）してきた長い歴史がある。ここに来て使用済み自動車（ELV）規則案の提案など欧州での再生材の利用義務化の動きを受け、再生プラが注目を浴びている。

供給2万トン/年向け

「PC認証」になっている」という。同認証は再生材の品質管理体制だけでなく、安定供給につながる管理体制を評価する第三者認証制度で、安

を推進する。同認証はマテリアルリサイクルに関する事業者を品心して調達できる企業・安定供給・安全として、需要者から注目環境の観点から総合的に評価するサプライヤー選定の条件になり得るため、認

もの。事業証取得は取引上の優位

再生プラの課題として、市場が求める品質のものを提供することが挙げられる。消費者が使用した後、廃棄した製品に由来するポストコンシューマリサイクル（PCR）材は、プラの種類や汚れの度合いが異なる。質向上のためにはプラ排出者による分別などの協力が要だ。また排出される使用済みプラは時期や製品によって量にバラつきがある。このため、それらを原料とする再生プラ市場では、安定的な供給も課題となっている。

再生プラの利用拡大

自動車向け年2万ト供給 2030年目標

[illegible]

フィルムには、再生材配合率50%と80%の2種類がある。今年末に配合率50%で厚さ10 $\frac{3}{16}$ インチを新たに追加する予定。担当者によると、「再生材を含めると強度が出る。10 $\frac{3}{16}$ インチで12 $\frac{3}{16}$ インチ相当の強度」がある。

海ゴミからゴミ袋

ゴミ袋を開発した。港で大量の海ゴミが処理されずに積み上がっていることに、目をつけたという。

野添社長は「今後も再生品を幅広く提供していきたい。顧客が求める新しい製品にもトライしていく」と意気込む。

ストレッチフィルム再生

包装資材を手がける用済みストレッチフィ
添産業は、06年からルムを回収し、原料と
格的にリサイクルして再利用している。
始めた。同社は使 同社の再生ストレッチ

エコマーク認定

バージン材よりも安価

再生原料を50%～80%使用



ご使用済みストレッチフィルムを
全国各地へ回収に伺います！
お問い合わせ：06-6745-1566



野添産業株式会社

本社:〒577-0006
大阪府東大阪市楠根3丁目5番14号
<http://www.nozoe-industry.co.jp>

